

やさしさ織りなすSAPPORO

2026

1

No.271

# やさしいまち

特集「育成する」  
地域に根ざした大学として

今年も  
よろしく  
お願いします  
まも!

みんな、  
空でつながっている。

Sunny Sky in Chuo-ku

中央区

Photo:  
中央区 大通公園

さっぽろ社協ハートニット



発行・編集



社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

社協の「S」と札幌市民の「S」を組み合わせ、「ハート」をモチーフに、心の糸を紡ぐ社協のネットワークが、やさしく包む生地(札幌のまちの囃子の目)をつくりだす様子を表しています。



6つのアクション

## 特集

# 地域に根差した大学として

札幌学院大学は、半世紀以上にわたって地域とともに歩んできた大学です。現在は、江別市の江別キャンパスと札幌市厚別区の新札幌キャンパスを拠点に、法学部・経済経営学部・人文学部・心理学部の4学部で約3,000人の学生が学んでおり、「自律・人権・共生・協働」という大学の理念のもと、人と人とのつながりを大切にする教育を続けています。

中でも2021年に開設した新札幌キャンパスは、札幌市の副都心・新さっぽろの中心にあり、まちに開かれた都市型キャンパスとして、市民・企業・行政など多様な人々が集い、交流する場ともなっています。カフェのように気軽に立ち寄れる空間や、市民が利用できる図書館、講演会などが行われるホールもあり、学生と市民が自然に出会い、学び合うことのできる環境が整っています。



札幌学院大学  
副学長・社会連携センター長  
わたなべ しんや  
**渡邊 慎哉氏**

## 学びを地域にひらく

本学の理念である「自律・人権・共生・協働」は、単に知識を伝えることにとどまりません。社会の現場に出て、人の思いに触れ、他者のために行動することも学びの一部です。札幌学院大学社会連携センターはその理念を実現する窓口として、札幌市や江別市をはじめとする自治体、社会福祉協議会、地域団体、企業などと協働し、学生が地域で学ぶ機会をつくっています。

大学が地域に支援を届けるだけでなく、地域の人々とともに学びをつくること。それが私たちがめざす「地域に根差した大学」の姿です。

## 地域とのつながりから生まれる学び

札幌学院大学では、学生と地域の方々との連携が年々広がっています。学生たちは、ボランティアのマッチングをおこなう「学まちネット」やゼミ活動をととして地域イベントなどの現場に参加し、地域を支える多くの人々と出会っています。これらの活動を通して「支えるとは何か」「共に生きるとはどういうことか」を自分の目で見つめ、学びを深めています。

また、大学と地域団体とが協働して行う地域連携プロジェクトでは、福祉・まちづくり・防災などの様々なテーマに取り組んでいます。例えば、本学の防災サークルの学生

たちが一般社団法人新さっぽろエリアマネジメントと連携して、BiVi新さっぽろのBiVi PARKステージにおいて、一般市民向けの防災イベントを開催しました。このイベント以外にも子ども食堂型フリースペースの企画など、新さっぽろエリアにおいて様々な地域連携プロジェクトが行われており、これからも地域と連携した活発な活動が継続されていく予定です。

学生たちが自ら地域に飛び込み、現場の方々と一緒に考え、行動する中で、地域に新しい風が生まれています。

## 市民とともに学ぶキャンパスへ

新札幌キャンパスでは、市民向けの公開講座「コミュニティカレッジ」を開催しており、地域の方々に向けて様々なテーマで学びを提供する取り組みを進めています。参加者の中には「地域のことを改めて考えるきっかけになった」といった声も寄せられています。

また、本学が開催している高校生ビジネスプランコンテスト・大学生ビジネスプランコンテストでは、毎年、札幌市内だけではなく道央圏を中心とした高校や、北海道内の大学から多くのチームが参加し、地域で問題となっている身近な課題を解決するビジネスアイデアなどの学習成果・研究成果が発表されています。

また、札幌市内の企業等でのインターンシップ、地域課題に挑む実践型授業なども広がっており、学生たちは現





防災サークルの学生たちが一般市民向けの防災イベントを開催

場での経験を通して、社会に貢献する意識を高めています。これらの学びの積み重ねが、地域の新しい担い手を育てる力になっています。

## 多様なまちで、多様な人を育てる

札幌は、北海道最大の都市であり、多様な人が共に暮らす人間らしいまちです。子育て、福祉、外国人支援、高齢者の生活など、地域が抱える課題は多岐にわたりますが、そこにはたくさんの出会いと学びのチャンスがあります。

本学では、「One life, Many answers. (ひとつの人生に、たくさんの答えがある)」というメッセージを掲げています。学生一人ひとりが自分らしい生き方を見つけ、他者の多様な生き方を尊重できる人になることを願っています。札幌という多文化・多世代が共に暮らすまちでの学びは、多様性と共生を体感する貴重な場でもあります。

## 地域とともに未来へ

札幌学院大学は、これからも地域に開かれた大学として、市民の皆さまとともに歩んでいきます。大学の知を社会にひらき、地域の声を教育・研究に生かすことで、学びとまちをつなぐ新しい関係を育てていきたいと考えています。そしてその歩みの中に、学生たちのまっすぐな学びと地域の温かな支え合いが、これからも重なっていくことを願っています。



高校生ビジネスプランコンテストの様子



コミュニティカレッジの様子

お問い合わせ  
札幌学院大学 社会連携センター  
TEL:011-386-8111

HPIはこちら







# ボランティア活動を通して 豊かな学生生活を

北海道大学学生ボランティア活動相談室 相談員

きくち ようこ  
菊池 洋子氏



## 秋の「ボランティア講習会」が行われました

10月29日、ボランティア活動相談室主催、今年度3回目の講習会が行われました。学生達や地域の方々も参加し、北消防署や消防団の方々にお世話いただいて「救命救急講習」を開催できました。当日はオープンスペースでの開催でしたので、通り過ぎる学生達の中にも興味を持って参加してくれた人もいました。人工呼吸やAEDの使い方も教えていただき、学部によっては「やったことがある」という学生もいましたが、多くは初めての経験に緊張して臨んでいました。



救命救急講習で人工呼吸やAEDを学びました

## 「ボランティア活動相談室」開室の思い

ボランティア活動相談室(ボラ室)は1998年に設置されました。当時は、1995年の阪神淡路大震災、1997年の日本海でのナホトカ号重油流出事故などに多くの若者達が駆けつけ、ボランティア活動の気運が高まっており、「全人教育」を推進している北大の目標にも繋がるものとして開室されました。勉学・研究以外の時間を社会のために役立てたいという気持ちや、社会に出る前の不安や苦手に、逆に社会の力を借りて成長したいという2つの思いがありました。

## 学生達と地域との相互作用

「ボラ室」は開かれた場所です。他の大学生も高校生や地域の方々も相談できます。北大内の相談室幾つかとは連携をとっており、社会性に苦手のある学生も、就活に不安を抱える学生も、社会の力やボランティアの力を借りながら成長していきました。近年、学生達が一番多く取り組んでいるのは「学習支援」ですが、様々な団体の目標に

応じて、学習だけではなく、一緒にお話ししたり遊んだりもしています。学生達は、なぜボランティアなのかという「意味」を深く考えながら通っており、ボランティア活動というのは学生達をも育てているということを実感しています。

## 1年間の行事は「ボラカフェ」から始まります

年間3回ほどのイベントがありますが、今年度は、4月に、ボランティア相談室の隣にあるディスカッションラウンジで「ボラカフェ」を行いました。この時期には毎年、新一年生を対象にしてボランティア活動相談室の存在を広く知ってもらうことが目標になっています。地域のボランティア団体や社会福祉協議会の方々もお招きし、それぞれのテーブルに分かれて、お話をしてもらいました。



春のボラカフェで語り合いました

6月のボラカフェは「点字の名刺を作ってみよう!」と題して、各テーブルでおしゃべりする楽しさと共に、「視覚障がいと点字」についても学びました。発端は、今年ボランティア相談室に通って支援の中、自分の生き方を考えて実行している視覚障がいの方の前向きな生き様に触れ、学生達が感銘を受けたことでした。学生達の感性を形にできれば~と思い、点字講習になりました。

そして3回目が今回の「救命救急講習」です。災害の多い今年です。安心に繋がればと企画しました。ボランティア団体の方々もボランティアをお願いしたい方も、ぜひ一度、「ボラ室」にいらしてください。

### お問い合わせ

北海道大学学生ボランティア活動相談室

TEL:011-706-2119 開室日:月水金、15時30分~18時30分

メールアドレス:hokubora@jimui.hokudai.ac.jp



ふくしを紡ぐ

# かゆいところに手が届く「まごのて」のような支援を通して、包括的な地域福祉の実現へ

生活支援ボランティア団体 まごのて

おかがき ふみか  
岡垣 文香氏



## 「まごのて」の由来と活動

「まごのて」は札幌市東区を中心に活動している有償ボランティア団体です。地域の高齢者等を対象とした生活支援活動を行っております。メンバーは北海道大学の学生が中心で、現在約30名が在籍しています。

当団体は2020年4月に設立され、今年度が活動6年目となります。設立当時の2020年は、新型コロナウイルスの影響により、学生の活動は様々な制約を受けていました。そんな中、「何か学生でも地域のためにできることはないか?」と考え、注目したのが高齢者支援です。コロナ禍では、在宅支援サービスが停止になる等、高齢者への支援が手薄になっていました。このように支援のニーズがあり、学生でもできる活動として高齢者の生活支援に取り組んだのが「まごのて」の始まりです。

「まごのて」という団体名には高齢者の方から見て「孫」世代である私たちが日常のちょっとしたお困りごとをお手伝いし、かゆいところに手が届く、まさに「まごのて」のような存在になれたらという思いが込められています。

私たちは学生主体の団体であり、運営を全て学生が担うことを特徴としていますが、経験不足や知識不足等、学生だからそのリスクがあります。そのリスクを補うために、メンバー同士での話し合いを大切にしています。また、団体の活動開始にあたって支援を受けた札幌市東区社会福祉協議会などの専門機関への相談も重視しており、日々経験を積みながら活動に励んでいます。



車いすの移動支援を行うまごのてメンバー

## 事例紹介

①2025年4月に北大の近くのサービス付き高齢者住宅にお住いの方が約3年ぶりに依頼をしてくださりました。久しぶりに依頼をしてくださったことも大変嬉しかったのですが、その後さらに嬉しい出来事がありました。同年10月に同じ住宅に住んでいる別の方が同じ内容の依頼をくださったのです。お話を聞くと、4月の依頼者さんから紹介を受けて当団体に依頼をしたとのことでした。私たち「まごのて」を通じて助け合いの輪が広がったことを実感し、大きなやりがいを感じました。

②2024年7月に初めて依頼をいただき、それ以降継続して毎月1回の依頼を頂いている依頼者さんがいます。内容としては掃除機がけや布団の整理などの自宅の掃除を行います。「来月もまたお願いね」と言

われると、依頼者さんとの信頼関係を築けていることを実感し、とても嬉しくなります。

## 地域とのかかわりの中で感じること

日々変化していく現代社会において、高齢者の方のニーズも変化し、多様なものになってきていると感じております。例えば、現代は「スマホ社会」であり、ネット予約やレストランでの注文など、ありとあらゆるものが「電子化」されています。このようにスマホを持つことが前提とされているような社会の中、自分のスマホを持っている高齢者の方は以前より増えてきています。しかし、高齢者の方にとっては慣れない操作が多く、扱いに困ってしまうことも多いです。「スマホの操作方法が知りたい!」という新たなニーズが増え続けていると言えます。

「スマホのお悩み」のような日常のちょっとしたお困りごとに対する支援は不可欠ですが、公的なサービスだけではなかなか担いきれないというのが現状だと思います。このような公的なサービスでは担いきれない部分を補完するのが、私たちにできる役割であるとも感じています。

高齢者の方が住み慣れた地域で今後も暮らしていけるために、私たちにできる支援を提供して、「地域での包括的な支援」実現の一助になっていきたいと思っております。

## これからの展開

「まごのて」はこれまで、「生活支援」という形で高齢者の方の暮らしを支えてきました。今後は生活支援活動という枠組みに留まらず、また違った形で地域の高齢者の方々の暮らしをサポートしたいと考えています。

2025年11月に新たな取り組みとして、「高齢者向け北大キャンパスツアー」というイベントを主催しました。健康促進のウォーキングと自分たちが通っているキャンパスの紹介を合わせたような企画で、参加した高齢者の方にも楽しんでいただき、大変有意義な時間になりました。今後も学生だからこそできる企画を実施し、団体としての活動の幅を広げていきたいです。



札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)で開催されたPRイベントの様子

### お問い合わせ

生活支援ボランティア団体 まごのて  
TEL:070-8304-6643(団体携帯)  
mail: magonote.otasuke@gmail.com

HPはこちら







# まもりんだより

SAPPORO SHAKYO NEWS



社協をお気軽に  
ご利用くださいまも♡

Otayori  
**1**

## アトリウムイベント

この記事への  
お問い合わせは、  
総務課へ

社会福祉総合センター 1階アトリウムでは、日頃の生活や健康づくりに役立つ講座や、障がい者の作業所などによる雑貨・お菓子等の販売など、様々な催し物を行っています。

お申込みが必要な講座もありますが、お申込みなしで当日ご参加いただける講座もございますので、みなさんのご来場をお待ちしております。

### 令和8年3月末までの予定

#### 知っ得くひろば

賛助会員企業・団体等の協力により、「人生100年時代の健康づくり」や「高齢者の住まい」「成年後見制度」など、高齢者が安心して生活するために必要な知識を学ぶことができます。

**日時** 毎月第1・3火曜日 11時30分～  
令和8年1月の第4火曜日 13時30分～  
(どちらも30分程度)



#### やさしさっぽろ健康講座

認知症予防や介護予防につながる知識を学ぶことができ、健康体操や健康チェックなどを体験できる楽しいメニューもございます。

**日時** 毎月第2木曜日 11時30分～(30分程度)



#### てづくりマーケット

障がい者の作業所などによる、手作りのパンやお菓子、雑貨等の販売を行います。

**日時** 火・水・金曜日 11時00分～14時00分  
(祝日を除く)



## 2

### 日常生活自立支援事業のご紹介

認知症や知的・精神障がいなどにより、一人では日常生活を送ることに不安のある方が、地域で安心して生活を継続できるように権利擁護や自立支援を進めています。支援の内容としては、福祉サービスの利用にかかわる手続き、情報提供の他、日常的な金銭管理や財産保全(貸金庫で重要書類等をお預かりする)など、利用を選択できるサービスも提供しています。利用に関する詳細は、お住まいの区の社会福祉協議会、または札幌市社会福祉協議会自立支援課までお問い合わせください。






実際の支援の様子

この記事へのお問い合わせは、  
自立支援課へ

## 3

### ボランティア活動センター 講座のおすすめ!

この記事へのお問い合わせは、  
ボランティア活動センター

<b>2月</b> <b>1日福祉セミナー</b> <b>「ひきこもり」について学ぶ</b> <b>日時</b> 2月10日(火)13時30分～15時30分 <b>講師</b> 札幌市ひきこもり地域支援センター 樋口 正敏 氏 (ひきこもり支援コーディネーター 精神保健福祉士) <b>申込</b> 12月10日(水)より 申込受付中 <b>受講料</b> 500円  ▲応募はこちら	<b>2月</b> <b>被災者生活支援ボランティア入門講座</b> <b>被災者生活支援ボランティアの具体的な活動について</b> <b>日時</b> 2月18日(水)13時30分～15時30分 <b>講師</b> 災害ボランティアコーディネーター 吉崎 文浩 氏 <b>申込</b> 10月17日(金)より 申込受付中 <b>受講料</b> 500円  ▲応募はこちら	<b>2月</b> <b>子ども・子育てボランティア講座</b> <b>子どもと関わるボランティア活動</b> <b>日時</b> 2月25日(水)10時00分～12時00分 <b>講師</b> 横浜植木株式会社北海道支店 さとのプレイパーク 中尾 美奈 氏 <b>申込</b> 12月25日(木)より 申込受付中 <b>受講料</b> 500円  ▲応募はこちら
お申込み・お問い合わせ ボランティア活動センター TEL:011-623-4000		

## 4

### わたしの生き方セミナー いつまでも自分らしく ～終活2025～

この記事へのお問い合わせは、  
広報戦略室へ

人生で欠かすことのできない「衣(医)・食(職)・住(充)・財(才)」をテーマに、様々な分野の講師を迎え講座を行います。思い通りに「終活」してみませんか?



応募は  
こちらから  
どうぞ



第6回の講師  
こだま税理士・行政書士事務所  
税理士・行政書士 児玉 美由紀 氏



第7回の講師  
札幌孝仁会記念病院 心臓血管外科  
診療部長 渡邊 隼 氏

**日 時** 毎月第4水曜日 10時00分～11時30分  
(質疑応答30分程度)

**費 用** 無料

**会 場** 大研修室  
札幌市社会福祉総合センター4階

**定 員** 150名  
先着順で順次受付(定員に達した場合は  
キャンセル待ちで受付)

**お申込み** 随時受付中(電話・FAX・窓口でどうぞ)

開催日	内 容	講 師
1月28日 (水) テーマ 「才」	シニアのための 冬の防災術	北海道防災士会 防災士 金子 のりとし 氏
2月25日 (水) テーマ 「才」	人生を豊かにする 新たな終活のすすめ	元北海道新聞編集 委員フリー記者 福田 淳一 氏

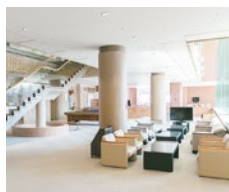


# 〈 札幌市保養センター駒岡 〉 皆様に安心して過ごしていただける やさしい施設です。



当センターでは、ケアマネジャーなどの介護専門資格者が、介助や介護相談等に対応しますので、高齢の方や障がいのある方にも快適かつ安心してご利用いただけます。

また、館内はバリアフリーとなっており、各所に福祉用具を設置しているとともに、入浴に介助が必要な方のための専用室もございます。



ロビー



洋室



大浴場



レストラン

## 施設 情報

札幌市保養センター駒岡  
札幌市南区真駒内600番地20  
TEL 011-583-8553



HPIはこちら

どんな活動が  
できるの？

保養センター駒岡では  
こんな利用ができます。

### 日帰り宴会

10時～16時、17時30分～20時。大広間、中広間、和室があり、人数に合わせて宴会場をご用意いたします。

### レストラン

11時～16時(ラストオーダー 15時30分まで)。麺類や丼物、定食物など各種メニューをご用意しています。

### 売店

8時～20時。お土産や珍味、地元農家で採れた野菜、障がい者支援施設が作成した雑貨類などを取り揃えています。

### 宿泊

宿泊室は、16室。和室、洋室、和洋室があり、チェックインは13時、チェックアウトは10時です。

### 日帰り入浴

10時～20時。  
フェイスタオル(販売)、バスタオル(貸出)もご用意しています。

### マージャン

10時～16時。  
電動卓5卓、手積卓5卓。  
宿泊者は23時までご利用できます。

### いきいきふれあい講座

陶芸やヨガなど新たな趣味活動を始めた方が集まり開催しています。例年2月頃募集しますので、ぜひお申込みください。



# 社協 INFORMATION

## ボラカフェを開催しています！

ボランティア活動センターでは、月1回13時30分～15時00分にボラカフェを開催しています。

「誰でも気軽に集える交流の場を作りたい!」との思いから、令和6年5月よりスタートしました。

ゆっくりお話をしたり、簡単な作業をしたり、歌や踊り等を披露してくれるボランティア団体さんに来てもらったり…毎回異なる内容でみなさんに楽しんでいただけたらと考えています！

今後は令和8年1月14日(水)、2月12日(木)、3月12日(木)の開催を予定しております。

開催日時や内容については毎月ホームページにチラシを掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

どなたでも自由にご参加いただけます！みなさまのご参加をお待ちしております！



お申し込み・お問い合わせ先  
ボランティア活動センター TEL:011-623-4000

## ほっ・とプラザ協力会員の募集

日常生活に支障がある、高齢の方や障がいのある方、病弱な方、産前産後各8週以内の方への家事の手助けや、外出時の付き添いを行う「有償ボランティア事業」を行っています。会員登録制で、以下の日程で実施する登録説明会(前半は登録説明、後半は活動前研修)を受講することで、経験のない方でも有償ボランティア活動に参加することができます。

日 時	①令和8年2月17日(火) ②令和8年3月17日(火) いずれも9時30分～13時00分
場 所	札幌市社会福祉総合センター ①3階 第3会議室 ②3階 第2会議室
対 象	有償ボランティアに関心のある方
費 用	入会金 1,200円
お申込み開始日	①②令和8年1月13日(火)

お申し込み・お問い合わせ先  
ほっ・とプラザ TEL:011-623-4010

詳しくは  
こちら



## 大人のための朗読会



日 時	令和8年2月20日(金) 13時30分～
会 場	札幌市社会福祉総合センター 4階 大研修室
参 加 費	無料
定 員	計150名(先着順)
予定内容	フリーアナウンサーの田中隆子さんによる 文芸作品等の朗読
申込開始	令和8年1月20日(火) 8時45分から

お申し込み・お問い合わせ先  
情報センター資料室 TEL:011-614-2001 FAX:011-615-2666

情報センター資料室発!  
福祉関係者に  
おすすめの一冊

### 『年商1億円! (目標)ばあちゃんビジネス』

大熊 充 著/小学館 定価/1,650円(税込価格)

地域の高齢者に働く場を提供し、生きがいと収入を創出する「ばあちゃんビジネス」を立ち上げた著者が、高齢者就労の新しいかたちについて語る一冊。

高齢者の貧困と孤立の解消・認知症予防・世代間のつながり作りといった社会課題の解決につながるヒントも提供します。

情報センター資料室で貸出している本やDVDの蔵書検索は、こちらからご覧になれます。  
本の貸出を希望される方は情報センター資料室にお越しください。  
URL <http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>



## 今月の 社協のひと

### やりたいことに 近づける仕事

shakyo staff

たまもり かずさ  
玉森 和総

施設福祉部 中央老人福祉センター

入職日 令和5年4月

休日の過ごし方

ドライブが好きです。全道をまわって美味しいもの探しています。

座右の銘 為せば成る

### 福祉の仕事を選んだきっかけ

小さい頃、近所に祖父母が住んでいて、学校の帰りにはよく立ち寄って晩ご飯と一緒に食べていました。その影響で自然と高齢者の方と関わることに親しみを感じるようになりました。

また、福祉関係の仕事をしていた母の職場に連れて行ってもらう機会が多く、高齢者の方々と触れ合う時間が日常にある環境でした。こうした時間の中で、人と関わることの楽しさや、支えることの大切さを肌で感じ、高校生の時には「福祉の仕事に就きたい」と強く思うようになりました。

担任の先生から社会福祉士という資格を教えてください、将来の道が明確になりました。そして、福祉を専門的に学ぶため、福祉系の大学へ進学することを決意しました。

### 地域と関わる仕事へ

大学では、社会福祉士の資格を取得し、当初は資格を活かしたい思いから病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務していました。その後、様々な方と関わる中で、より身近な支援者として地域の方に関わりたいと思い、介護予防センターに転職。介護予防センターでは地域の方との距離がとても近く、楽しいと感じる出来事も多くありました。そして、色んな経験をする中で、介護予防だけでなく、幅広い地域福祉の仕事を経験してみたいと思うようになり、一つの法人で、地域福祉における多様な機能を担っている社会福祉協議会に転職しました。

### 思い出を守るボランティアの力

入職後、私は白石区社会福祉協議会に配属になり、様々な業務を担当しましたが、特に印象に残っているのがボランティアのマッチングです。

当時、高齢の女性から「畑にあるぶどう棚が倒れそうなので修復してほしい」と依頼がありました。このぶどう棚は亡くなっ

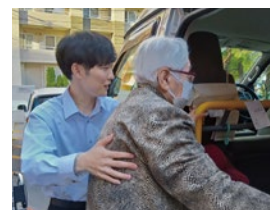
たご主人が手作りしたもので、大切に育てておられました。相談に来られた女性も高齢になるにつれ手入れが出来なくなり困っていたのです。思い出の詰まった大切なぶどう棚をなんとかしたいと思っていたところ、ボランティア団体の皆さんが快く引き受けてくださりました。相談に来られた女性もとても喜んでいたので印象に残っています。相談された方の想いを汲んで対応いただいた地域を支えるボランティアさんの姿に深く感動したことを覚えています。

### 心の変化に寄り添う

今年度からは部署を異動になり、中央老人福祉センターで勤務をしています。中央老人福祉センターは、市内に住む60歳以上の方が利用できる老人福祉センターの機能とデイサービスセンターも併設されています。

私はデイサービスを中心に、相談員としての役割や利用者の方の送迎、入浴介助等を担っています。利用者の方の体調の変化や気になる事があればすぐにご家族やケアマネジャーへ報告しています。利用者の方を良く知ることはもちろん、一緒に働く介護職員や看護師とも関係性を築き、連携して変化を見逃さないことが大切だと感じています。

新しく中央デイサービスを利用された方の中には、当初は抵抗があったものの、回数を重ねるごとに「デイサービスに行くのが楽しみ!毎日行きたい!」と目に見えて明るくなっていく方も居て、私も嬉しくなります。また、利用者の方が楽しそうに過ごしている様子を見ると、こちらまで癒される素敵な空間だなと感じます。



送迎車の乗降介助

### これから就職を考えている方(学生の方)へのメッセージ

上司含め、この組織で働く方はみんな優しく働きやすい環境です。また、部署異動でも自分にとって新しい知識をつけて成長できる環境だと思います!

職員  
募集中!

多様なキャリアプラン

充実した研修体制

女性の活躍を応援!

札幌市社会福祉協議会では、一緒に働く仲間を募集しています。ホームヘルパー・ケアマネジャー・社会福祉士・保健師など、専門資格を活かした多様な活躍の場があります。私たちと一緒に、札幌の福祉のまちづくりをすすめませんか?詳しくはホームページをご覧ください。



社協HPは  
コチラ



# 札幌市社協応援企業のみなさん

賛助会員企業として札幌市社協の活動を応援しています



脳卒中、心臓病、がんの三大疾病と  
運動器疾患を中心とした高度急性機能

**社会医療法人 孝仁会**  
**札幌孝仁会記念病院**

理事長 齋藤 孝次  
院長 入江 伸介

011-665-0020(代)  
札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号  
<https://sap-kojk.jp>



## お客さま、地域社会のDXをワンストップでサポート

NTTドコモビジネスグループの革新的な技術や、モバイル、クラウド、セキュリティ、IoT、AIなど  
先進ソリューションを組み合わせ、お客さまや地域社会のDXを支援し、課題解決を実現していきます。

つながろう。驚きを。幸せを。

**docomo Business**

NTTドコモビジネスソリューションズ株式会社



## 大切な人を「救」う 「命」の講習

職場の状況に応じ  
講習のカスタマイズ可能



- 【講習の例】
- ・乳幼児、小児、成人の心肺蘇生とAEDの使用法
  - ・窒息、誤嚥の対応 アレルギー対応
  - ・職場に合わせた防災備蓄、災害時の対応



救命・保育・看護・介護の  
現場経験を持つ講師

救命防災リーダーズ札幌  
ウェブサイトのフォームまたは  
お電話でお気軽にご連絡ください



全ての女性と女兒が  
幸せに生きることができるように

ソロプチミストの原点は  
奉仕です  
・暴力などで困って  
いる人を助きたい  
・奉仕を実践している  
方を応援したい  
・教育の機会を与えたい  
身近におられましたら  
ご相談ください



国際ソロプチミスト札幌中央 事務局 ☎090-3390-0037

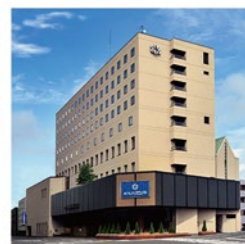
## 安心・安全・信頼

あなたの行きつけ  
美容室は  
美容組合加入の  
お店ですか？

あなたのキレイをつくる  
BEWAY札幌美容協同組合  
札幌美容組合  検索



●各種プランご予約承り中  
インターネット予約によるお得な  
宿泊プランも用意しております。  
ホテルノースシティ



◆宿泊 ◆宴会 ◆会議 ◆法要

**ホテルノースシティ**

〒064-8645 札幌市中央区南9条西1丁目 TEL011)512-9748  
<http://www.northcity.or.jp>

地下鉄南北線中島公園駅より徒歩2分  
地下鉄東豊線豊水すすきの駅より徒歩5分  
JRさっぽろ駅南口よりタクシー10分

# ご寄付ありがとうございました

札幌市社協は、『税額控除対象社会福祉法人』です。

2025年 9月 1日	皮革工芸サークル あじさい 様	10月 1日	一般社団法人こころとくらし総合協会 様
2日	ホシガキチャリティクラブ 様	7日	匿名希望の方
3日	匿名希望の方	7日	2025マジックカーニバル実行委員会 様
5日	匿名希望の方	9日	放課後等児童デイサービス にこば 様
10日	藤田 治 様	15日	フラワーショップ 花れん 様
11日	株式会社令和サービス 様	15日	大原 佑樹 様
13日	札幌市保養センター駒岡陶芸講座「陶寿房」 様	19日	伊藤 ますみ 様
13日	匿名希望の方	20日	安東 郁子 様
14日	匿名希望の方	21日	ネスレ日本株式会社 様
25日	SUN株式会社 様	24日	明治安田生命保険相互会社 札幌支社 様
30日	株式会社インブルーミー 様	25日	絆の会 様
		27日	株式会社ホンダモビリティ北海道 様
		29日	「小さな親切」運動 北海道本部 代表 土田 拓 様
		29日	小西 征夫 様



詳しくはこちら



## 内部広報「今日のイネ!」より

「今日のイネ!」とは 職員が「これは良い!」と感じた、6つのアクションを実施する活動や行動を取り上げて紹介・共有するしくみです。



他都市の独自事業や先進的な取組事例を調査・研究し、日々の業務に活かすことを目的とする「かわいい職員には旅させよ」事業に今年度は5名の職員が参加します。神奈川県横浜市での研修で、それぞれが得た気づきが社協に新たな刺激となる事を期待しています。

イオン札幌麻生店で開催した「認知症パネル展」で、実習生が認知症に関するミニ講話を担当しました。参加者の皆様に積極的に声をかける姿は「もう職員みたいだね」と声をかけられるほど好評でした。



ご利用者様が100歳の誕生日を迎えました。いつも元気に素敵な笑顔で、まもりんガーデン澄川の雰囲気をも明るくしてくれています。これからも末永くお元気にご利用していただきます。

## パズルの脳トレ!

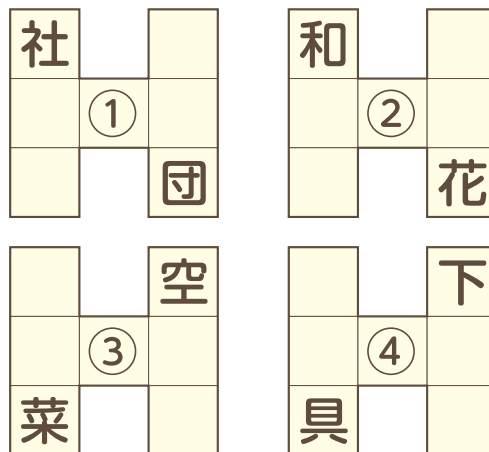
～三文字パズル～

難易度 ★★★★★

(例)

裏 双  
千里 眼  
家 鏡

例のように、縦・横に3文字の言葉ができるように、リストの漢字を空いたマスに入れてください。リストの漢字は1度しか使えません。①②③④に入った漢字を組み合わせることができる二字熟語をお答えください。



三 付 寒 栗 月 馬 日 家 立 盆  
雨 松 金 雪 防 竹 交 評 小 梅

答え

答えは  
次号に掲載!

制作協力  
社会福祉法人ほに会法人本部  
地域支援事業推進課  
NPO法人シズネット(脳活動)  
塾長 柿沼 英樹

## 問い合わせ先一覧

### ●総務部

総務課・広報戦略室・展示ホール… 614-3345  
職員課… 623-0010  
経営財務課… 614-3343  
情報センター資料室… 614-2001  
社会福祉総合センター… 614-2948  
●地域福祉部  
地域福祉係… 614-3344  
生活福祉係… 614-0169  
札幌市共同募金委員会… 614-3532  
ボランティア活動センター… 623-4000  
ほっ・とプラザ… 623-4010  
さっぽろ子育てサポートセンター… 623-2415  
成年後見推進センター(成年後見推進係)… 624-6901  
自立支援係… 633-2941

### ●施設福祉部

施設福祉係… 614-1002  
養護老人ホーム長生園… 614-1171  
札幌市保養センター駒岡… 583-8553  
●在宅支援推進部  
介護事業課… 623-0001  
地域包括課… 623-4021  
調査課… 623-4022

中央区社会福祉協議会… 281-6113  
北区社会福祉協議会… 757-2482  
東区社会福祉協議会… 741-6440  
白石区社会福祉協議会… 861-3700  
厚別区社会福祉協議会… 895-2483  
豊平区社会福祉協議会… 815-2940  
清田区社会福祉協議会… 889-2491  
南区社会福祉協議会… 582-2415  
西区社会福祉協議会… 641-6996  
手稲区社会福祉協議会… 681-2644

ホームページでもご覧になれます。

<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>



@mamorin93